

シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
国語	古典B	普通科・2学年	3単位
教科書	[主たる教材] 古典B 古文編・漢文編（数研出版）		
副教材等	[副教材] 新国語便覧（第一学習社） ベネッセ全訳古語辞典（ベネッセ） 基礎から学ぶ解析古典文法（桐原書店） 完全頻度順入試対策ベストセクション古文単語325（尚文出版） 積み上がる精選古文2（ラーズ） 必携明説漢文（尚文出版） 必携～句法と語彙の定着を図る～新明説漢文ノート（尚文出版）		

1 科目の目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 科目の内容

- (1) 古典に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解すること。
- (2) 古典を読んで、構成や展開に即して内容を的確にとらえること。
- (3) 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。

3 授業計画

月	内 容	配当時間	指導上の留意点
4月	古文 『十訓抄』 「大江山」（説話） 『伊勢物語』 「初冠」（歌物語）	12	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語に注意しながら、主語を確認させる。 ・表現技巧など、和歌についての知識を理解させる。
5月	漢文 『世説新語』 「買履忘度」（故事） ○1学期中間考査		
5月	古文 『大和物語』 「をばすて山」（歌物語）	18	<ul style="list-style-type: none"> ・逸話を読み、人物像を理解させる。 ・句形に注意し訓読のきまりに従って正確に内容を読み取る。 ・『枕草子』の日記的章段において作者が中宮定子をどのように語っているかを読み取らせる。
6月	古文 『枕草子』 「御前にて、人々とも」（随筆）		
7月	漢文 『世説新語』 「漱石枕流」（故事）		
7月	古文 『更級日記』 「東路の路の果て」（日記文学）	27	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景を踏まえながら、登場人物の心情を読み取らせる。 ・日記文学について理解を深めさせるとともに、作者の心情を読み取らせる。
9月	漢文 『唐詩三百首』 「寄李儋元錫」他（漢詩） 『史記（1）』 「鴻門の会」（史伝）		
10月	○2学期中間考査		
10月	古文 『源氏物語』 「光源氏誕生」（物語）	21	<ul style="list-style-type: none"> ・長い文章を読み取らせるとともに、物語の構成や人物の心情にも目を向けさせる。 ・内容を理解し、思想家である韓非の考え方を学ばせる。
11月	漢文 『史記（2）』 「四面楚歌」（史伝）		
12月	○2学期期末考査		
12月	古文 『源氏物語』 「小柴垣のもと」（物語）	27	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解し、思想家である韓非の考え方を学ばせる。 ・重要古語の意味や助詞、助動詞の用法を理解させ、文の正確な読解力も養わせる。
1月	○3学期中間考査		
1月	古文 『大鏡』 「南院の競射」（歴史物語）		
2月	漢文 『韓非子』 「愛憎之変」（思想）	27	
3月	○学年末考査		

4 学習評価

	意欲・関心・態度	読む能力	知識・理解
評価の 観点・ 規準	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確にとらえたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識をみにつけている。
評価方法	定期考査、課題テスト、授業内の小テスト、課題提出、ノート点検、授業への取り組みを総合して評価する。		

5 担当教員

国語科教諭

6 担当者からのメッセージ

- ・古典の基本は音読です。すらすらと読めるようになるまで繰り返し声に出して本文を音読しましょう。
- ・古文単語の意味を調べ、現代語訳を試みる（古文）、書き下し文に改めて文章を理解する（漢文）、などの予習をして授業に臨むことが大切です。授業を受けた効果が格段に上がります。
- ・毎週1回のペースで古文単語帳から小テストを実施します。語彙知識を増やすことで古文を深く読解できるようにするのが目的です。
- ・古典は、先人の知恵をかいまみることであり、現代に生きる私たちの感性や文化の形成過程が記されており、古典を通して現代の感性・文化を考える機会にできるようにともに努力しましょう。